【評議員会議事録】

日　時：2009年1月31日（土）　13：00-16：50
場　所：東北大学東京分室（サピアタワービルディング10Ｆ：東京駅八重洲北口）
出席者：井上，岡村，海部，柴田，須藤，中川，永田，宮川，家，坂田，佐藤，杉山，谷口，筒井，望月，山田（以上16名）
有効書面表決状提出者：郷田，渡部，池内，観山（以上4名）
他に國枝理事長，渡邊副理事長，竹田・高田庶務理事，田代・田村会計理事，相馬天体発見賞選考委員長，水野（前）研究奨励賞選考委員長，東條事務長が出席した．
開会に先立って本年度から就任された國枝新理事長から挨拶があり，新任副理事長の紹介とともに，これから天文学会が取り組むべき諸課題（理事長公選の検討，各種委員会の整理，会員増加へ向けた対策，公益法人へ移行するかどうかの選択，天文教育普及のための広報・Webページの改善，百周年に引き続く世界天文年の事業）についての言及があった．また議長に家氏，署名人に中川，筒井の両氏が選出された．

報　告

1. 前回議事録の確認
   前回（2008年9月12日）の評議会の議事録（資料1）についての確認がなされた．
2. 宇宙基本法に関する要望書の提出
   昨年からの，宇宙基本法施行に伴う宇宙開発利用基本計画策定開始は，わが国の天文学の研究教育に多大な影響を及ぼしかねないので，「天文宇宙科学の学問的意義の正しい理解と自由な開かれた体制を希望する」旨の天文学会からの要望書（資料2）を，宇宙開発戦略本部長（内閣総理大臣）宛に提出したことの説明が，國枝理事長からなされた．
3. 指定管理者制度に関する共同声明
   以前から問題になっている，指定管理者制度についての共同声明を天文学会が各天文関係の団体と連名で行政機関に提出し，昨年末に記者会見も行って新聞でも報道された旨の報告が高田庶務理事からあった．
4. 2008年度早川基金採択一覧表
   2008年度早川基金の採択状況が，高田庶務理事より資料3に基づき報告された．第62回募集から交通費のみならず滞在費・参加登録料も支出できるようになり，以前に比べて間口が広がってきている．
5. 2009年春季年会について
   2009年の春季年会は大阪府立大学で3月24-27日の4日間の会期で開催されるが，その準備は小川開催地理事をはじめとする現地の皆さんの努力で，特に問題もなく着々と進んでいることが高田庶務理事より報告された．
6. その他
   1. 大学院生の海外渡航援助状況
      大学院生を対象とした海外学術研究援助に関する調査（アンケート）が行われ，その結果が当日配付資料に基づき永田氏より報告された．院生が海外研究会参加の際にいかにして費用を工面しているか，財団の援助に対していかなる希望をもっているか，などの状況がうかがいしれた．
   2. 世界天文年について
      本年が世界天文年となったことにちなみ，いよいよ活動が始まったことの報告が海部氏よりなされた．日本ではぐんま天文台でのオープニングセレモニー，世界的にはパリでのopening eventで幕開け．国内ではこれから巡回展が各地を巡り，夏の日食もハイライトとなる．国際的には100 hours of astronomyなどへの参加も．天文関係の本も多く出版され，商品へのロゴ使用申込みも企業から多数きており，社会的にも盛り上がってきている．さらに，昨秋の韓国済州島での会議において東アジア4カ国（日本，韓国，中国，台湾）の代表が合意した内容が，当日配布された資料に基づき説明された．互いに連携しての世界天文年の推進，三つのプロジェクト(Stars of Asia, Asian-Pacific Astronomy Camp, Milky Way Week), 4カ国の天文学会の継続的協力活動の開始，など．
   3. アストロバイオロジーワークショップの後援について
      宇宙と生命の関係を探るアストロバイオロジーは，天文学・地球科学・化学・生物学・地質学などさまざまな学問が関わることに鑑み，いろんな分野の研究者の相互理解を深めるための第一回ワークショップが，昨年末に開かれて好評だった．この成功を受け，本年秋にも第二回目の開催が見込まれているが，「これを広く周知させて多くの研究者に参加してもらうべく，天文学会にも後援してもらいたい」とワークショップ世話人の大石雅寿さんから依頼がきており，（財的支援を求めるものではないので）認める方向であることが高田庶務理事より当日配布資料に基づき報告された．この分野は特にこれからは重要だろうけれども日本ではたいへん立ち遅れているので積極的に推進すべきだ，天文学会もこの学際的分野に取り組むべく組織的な見直しも必要かもしれない（このたびの日本地球惑星科学連合の立ち上げもからんで），などの意見も出された．

議　題

1. 2008年度各賞受賞者の決定
   1. 天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞
      相馬天体発見賞選考委員長より資料4-1に基づき，選考委員会において下記のように天体発見賞候補6氏（グループ）[19件]，天体発見功労賞候補9氏（グループ）[11件]，天文功労賞（長期的な業績）候補1氏，を推薦することに決定したとの報告があり，すべてについて承認された．
      天体発見賞：市村義美（2件），板垣公一（9件），
      藤田康英（1件），金田　宏（1件），
      西山浩一・椛島冨士夫（5件），
      小林隆男（1件），の各氏
      天体発見功労賞：板垣公一（2件），山本　稔（1件），中村祐二（1件），長谷田勝美（2件），工藤哲生（1件），西村栄男（1件），櫻井幸夫（1件），板垣公一・金田　宏（1件），広瀬洋治（1件），の各氏
      天文功労賞（長期的な業績）：北尾浩一氏
      なお，今回は天文功労賞（短期的な業績）は受賞者の選出がなかった．
      アマチュアの方々の観測技術の向上もあってか，受賞対象の発見事例が近年増加する傾向が見られる．これが将来的に取り仕切れないまでに著しく増大しはしないか，常連の受賞者の方々も少なくなく，また総会での授与式が紋切り型の形式的なものになりがちである，などの懸念の声も出て，たとえば新しい方への授賞を特に奨励したり，受賞者へのもっと心のこもった激励の仕方を考えるなり，この種の賞のあり方そのものの再検討の議論を始めてはどうか，との意見が選考委員会に対して向けられた．
   2. 研究奨励賞
      水野（前）研究奨励賞選考委員長より資料4-2に基づき，昨年末に開かれた研究奨励賞選考委員会において8名の被推薦者の中から3名を授賞候補者として推薦する旨の報告がなされた．評議員間でさらなる議論を重ねた結果，今回は井口　聖と稲田直久の2名に対して研究奨励賞を授賞することとなった．
      研究奨励賞：井口　聖，稲田直久，の両氏．
   3. 林　忠四郎賞・欧文研究報告論文賞
      林　忠四郎賞選考委員長の代理として，井上氏より資料4-3に基づいて林賞選考委員会において3名の候補者（新規の被推薦者はなかったので前年度から引き継いだ候補者リストで議論）の中から下記の1名，欧文研究報告論文賞については引用件数の多い過去5年の論文の中から下記の2編，を推薦する旨の報告があった．評議員間の意見交換を経たうえで，これらはいずれも承認された．
      林　忠四郎賞：杉山　直氏
      欧文研究報告論文賞：“Atlas and Catalog of Dark Clouds Based on Digitized Sky Survey I," Dobashi K., et al., 2005, PASJ 57（特集号），S1-S386.および“Pre-Processing of Galaxies before Entering a Cluster," Fujita Y., 2004, PASJ 56, 29-43.
      欧文報告論文賞は過去5年以内の論文で議論されていることに関して，分野によっては成果が世に知られるのに時間がかかる場合があるので，もっと以前のものでも対象にできないかとの意見が出された．論文賞内規ではこれは単に目安の意味で「原則として」過去5年以内としているだけであって，それ以前の出版でも特に秀逸な論文に対しては候補としての推薦も構わないし授賞対象ともなりうるものであることが確認された．
      また，評議員会に先立って各賞の授賞候補者の情報がメールで出席予定者に送付されていることについて，「機密保持の観点から不適切である」との意見があった．参加できない評議員の有効表決状提出の必要性から議題の内容を前もって把握してもらうために資料の前送付はやむをえないので，次回からは郵送で行うように努力することになった．また，これに関して，選考委員会の日程を早めるなど，時間的に余裕をもった運営の必要性も指摘された．
2. 2008年度事業報告書案
   高田庶務理事より資料5に基づいて2008年度事業報告書案について説明があり承認された．補足として岡村創立100周年記念出版事業編集委員長からシリーズ「現代の天文学」について，残っている未出版の巻の進捗状況，また昨今の紙代の値上がりもあって100円程度の定価の値上げのやむなきに至ったこと，全巻出版完結のあかつきには記念セールを見込んでイベント（講演会）開催を考えていること，などが報告された．
   また昨年末配布された学会名簿について個人情報保護の観点から設けられた新たな方針の結果（全会員約3,000名に宛てた公開可否の問い合わせに対してたった1/3しか回答がなく，また回答者についても半分以上は自宅の住所電話番号公開は不肯の意向），空白が異常に目に付く極めて有用性の低いものになってしまったことについて意見の交換があった．会員も今回のことで事態の深刻さを初て認識して次回からはきちんと対処するだろうから，その意味では今回の名簿は有意義だった，との前向きな指摘もあった．その他，これからは天文学会以外の賞への候補者を天文学会から積極的に推薦するように努めること，などが話題に上った．
3. 2008年度決算報告書案
   田村会計理事より資料6に基づいて2008年度決算報告書案に関して一般会計，特別会計それぞれについて説明があり承認された．2008年度は例年に比べて収支が悪化しているが，これはPASJの半額キャンペーン，春季年会（代々木オリンピックセンター）の会場代，百周年記念事業，補助金の減少，などによるものであり，想定内の範囲である．
4. 2008年度監査報告
   高田庶務理事より資料7に基づき，2009年1月8日に行われた2008年度監査についての報告があり了承された．
5. 2009年春季総会議題等
   高田庶務理事より資料8に基づいて，春季年会における総会の議題・報告案の説明があり了承された（議題名の若干の修正のみ）．
6. 「日本天文学会100年史編纂委員会に関する内規」の廃止
   高田庶務理事より，天文学会百周年の記念事業として行われた，日本天文学会100年史の編纂の仕事が昨年の出版完了とともに終結したことを受け，本委員会に関する内規も廃止することが提案され，了承された．
7. 会費未納による除名予定者名簿
   高田庶務理事より会費未納による35名の除名予定者リスト（資料9）が示され，承認された．ただし早急に入金手続きがなされた場合は，本リストからは外されて会員資格は継続されるので，この中で個人的に知っていて連絡のつく人に対してはなるべく入金を働きかけようということになった．
8. PASJ編集顧問会議の報告と検討のお願い
   昨年11月にPASJ編集顧問会議でPASJの将来について話し合われたことの内容のまとめが資料10に基づいて高田庶務理事より報告された．
   (1) 出版形態の将来的方向性（紙版主体から電子版主体への移行），(2)PASJの組織的将来像（国際化の必要性），(3)レビュー論文への力の注入（林賞の受賞者への依頼），(4)補助金増加への努力，など．これらの点については，理事会でも議論された結果，特に(2)については新年度から新メンバーに刷新された顧問会議にもう一度差し戻して具体案を再度提示してもらうことになっているが，この報告内容の一般的な方向性については異論はなく承認された．わが国で学術誌の出版に対する補助金が減少しているのは，諸外国と比べても逆の傾向で時代の流れに反するするものであり，長い目で見たときに大きな問題になりかねないとの指摘もあった．
9. その他
   1. 公益法人について
      海部氏から天文学会は新公益法人への移行はどうするのかとの質問があり，國枝理事長から「他の学会の動向もにらみつつ検討中であって，どうするかはここ数年のうちに決める」との回答がなされた．これを受けて，学術会議もこの問題にはいろいろ情報をもっているので（いろいろ細かいことができなくなる制約が出たりして必ずしも公益法人がいいとも言えない）是非学術会議とコンタクトをとって動くべきであろう，との助言がなされた．
   2. 宇宙基本法について
      天文学会から要望書を提出した宇宙基本法に関して，井上氏からこの体制ワーキンググループの活動（大学との連携，公開の原則，自立的な研究の推進）について紹介があった．また同じくメンバーである佐藤氏からも，このWGの情報公開の程度や天文学会からの要望書に対する内部の反応などの様子について補足説明がなされた．
   3. 学術会議からの報告
      海部氏より，学術会議では各委員会でそれぞれの分野の展望のとりまとめを行っていること，大型計画は現在ストップしていて先が見えづらい状況であること，第4期の計画に対して意見があれば今年一杯までに申し出てほしいこと，など現状報告があった．
   4. IAU新メンバー申請者について
      海部氏から，IAUの新規メンバーへの加入希望者は今度からWebサイトより自己申告で申請することになって，日本からは従来（大体～20名程度だった）を大きく上回る57名の申請があったことが報告された．これでわが国のIAUメンバーは約600名になり，600台半ばの英国やフランスのレベルに届くのもそう遠くはない数になった．
   5. 今後の評議員会について
      次回の評議員会は春季年会（大阪府立大）会期中の3月26日（木）に決まっているが，次々回は6月27日（土）（場所は未定）に行われることになった．

2009年2月12日
議　長　　家　　正則
署名人　　中川　貴雄
署名人　　筒井　　亮